

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 6 ページ）

種目(教科等)【 英語 】

項目	教科書名(NEW HORIZON English Course) 会社名(東 書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○国際社会を生き抜く日本人として英語力の基礎を「技能」として身につけ、その英語力で積極的に世界につながろうとする「心」を育てる工夫がされている。</p> <p>○Unit「習得」、Daily Scene「活用」、Presentation「発信」の3部構成とし、繰り返し学習することで基礎を確実に身につけ、総合的に4技能を育成することができる。アクティブラーニングに対応している。</p> <p>○多国籍な登場人物を題材に、多岐に渡る内容を取り上げている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○Unit、Daily Scene、Presentationの3部構成になっている。Unitでは「聞く」「話す」「書く」「読む」活動が中心となる。Unit最後のActivityでは、学習した内容を使い、「聞く」「話す」「書く」を総合的に運用する言語構成になっている。4技能を繰り返し学習し、基礎的な知識・技能を習得できる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○既習事項を新たな学習内容に関連させながら、3年間で繰り返し取扱い、無理なく難易度を高める工夫をしている。3学年を通して多様な題材に触れることで思考力、判断力を育てる。自分の思考力・判断力に基づき、ThinkやUnitのまとめのPresentationで発信型の課題に取り組み表現力が高められる。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各学年に「学び方コーナー」がある。単語の書き方、文の読み方、5つの文構造など質問形式でわかりやすくまとめている。また、Unitの目標の明示、単語の意味発音チェック欄の掲載等、生徒自身が目標を持ちやすい構成となっている。また、Tool Boxの表現例等も豊富で自ら学習できる構成となっている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○データや絵を多用し、語彙や言語材料は運用度の高いものを活用している。生徒が「自分の言葉として使う」活動が豊富にあり、練習問題のバリエーションも多く確実に定着できる工夫をしている。場面や対象を明確にしリアリティのある内容に取り組み、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。</p>
	<p>資 料</p> <p>○巻頭に本文関連写真資料がある。1年では、小学校英語の復習中学校英語の導入のHi, English!がある。巻末には、Word List, Bonus World Box, Word Roomがあり、絵も使い、生徒が活用しやすいたくさんの資料がのっている。1年生では発音記号の紹介や発音の仕方なども紹介してある。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○1年ではすべてのUnitでブロック体、手紙では手書き風の字体、Let's Readで活字体を使用している。1年で各単語にアクセント付記、2年から発音記号併記となっている。語句の下に、発音練習とし、同じ綴りで違う発音など、注意したいものを取り上げている。</p>
総括	<p>○Starting out、Dialog、Read & Thinkの目的が明確で、重点的に4技能の学習ができる。特にRead & Thinkでは「英語で」情報を得られる工夫がしてある。さらにActivity、Challenge、Daily Scene、Presentationで総合的に4技能を習得でき、自己表現活動が豊富で、英語の発信力を身につけることができる。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 6 ページ）

種目(教科等)【 英語 】

項 目	教科書名(SUNSHINE ENGLISH COURSE)	会社名(開隆堂)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと等のコミュニケーション能力の基礎を養うため、既習表現を使って表現する場面が計画的に用意されている。</p> <p>○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するためペアワークを多く配置するだけでなく生徒の興味関心を引く題材が用意されている。</p> <p>○言語や文化に対する理解を深めるため多くの国や地域の習慣や、日本と外国との友好関係を伝える教材が用意されている。</p>	
特色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫></p> <p>○Program、POWER-UP、My Projectの3部で構成されている。Programでは、はじめにBasic Dialogで「音」を聞く教材があり、「音」からの導入を重視している。各セクションで習う基礎的・基本的な内容をListen、Speak、Tryで練習させ、本文学習後にWriteで自己表現させる構成となっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各セクションのBasic Dialogで基本的な文法を学習させ、Listen、Speak、Try、本文、Writeで学習した後で、習得した初歩的な技能をもとに、My Projectで思考力を深め、表現できる題材が用意されている。POWER-UPでは、日常会話でよく使われる言語活動が多くあり、コミュニケーション能力を高めることができる。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○WORD BOXやExpression Boxに生徒が発音のチェックができるマークがあり、自ら考えて表現する工夫がされている。POWER-UPは、Listening、Speaking、Writingの技能を意図的に使わせるような構成となっている。「英語のしくみ」は、練習問題を通して学習のまとめを行わせる構成となっている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○各セクションにListen、Speak、Try、Writeを設定し、4技能全てをバランスよく活動できるようになっている。My Projectでも、4技能全てを用いて活動できるようになっている。計画的にペアワーク等を行うことで実用的コミュニケーション能力を高める工夫をしている。</p>
	資 料	<p>○巻末資料に「単語と熟語」の辞書機能があり色分けされている。「英語の歌」が掲載されていて、授業の導入時などに活用できる。付録には、「英語で『できるようになったこと』リスト」があり4技能の確認ができる構成となっている。1年生ではアクションカード、2、3年生では「クイックQ&A」がある。</p>
	表記・表現	<p>○Listen、Speak、Try、WriteやMy Project等が色分けされた表記・表現となっている。1年生では、Program8とMy Projectまではブロック体を使用し、それ以外は活字体を使用している。2、3年生では本文で活字体を使用し、それ以外にブロック体を使用している。</p>
総 括	<p>○Listening、Speaking、Reading、Writingのバランスがとれている。絵や写真が豊富で生徒の興味関心を喚起しやすく、ペアワークなどの言語活動が豊富に設定されている。日本文化を英語で紹介できるよう工夫されていて、生徒が言語活動を通して、自分の世界をひろげられるような構成となっている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 6 ページ）

種目(教科等)【 英語 】

項目	教科書名(TOTAL ENGLISH) 会社名(学 図)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○本文の会話形式を大きく見やすくし、やりとりの場面に集中を高められるように、余計な単語や注意事項が視野に入らないページ作りになっている。</p> <p>○小学校から親しんできた一般動詞から導入することで生徒にコミュニケーションへの興味関心がつながるように配慮がなされている。</p> <p>○英語を通して自分を見つめ、世界を広げるためのテーマを「人々」「言葉」「地球」の3つにしばり全体を通して貫かれた題材選択になっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫></p> <p>○本文、文法、練習という構成で、内容から導入し、理解・応用・活用につなげる工夫をしている。Listen&Repeatでは英語のリズムや語の繋がりに慣れさせる活動が掲載されている。文字だけでなくイラストを用いて練習する工夫もしている。Chapterの最後に習得した基本文法をもとに表現力を高めるProjectがある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Book2で、小学校の国語や道徳で親しんでいる「泣いた赤鬼」を題材に扱い、読み物から更に進めてパート別に朗読劇をさせるという、感情移入も容易な題材を独創的に扱っている。Pattern Practiceからペアワークへ、そしてさらに文字にして定着させる流れのある構成になっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各Chapterの初めに言語材料や目標が示されている。全学年スピーチ形式の発信型のProjectを設定している。課題解決型の題材を提示し、自分のことを知ってもらうという意欲を高める題材を用意している。ReviewやCheck it outでは、Stepが段階的に構成され、主体的に学習する工夫をしている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○Chapterにおいて段階を追ってスピーチ形式の発信型プレゼンテーションが設定され、目標も明記されている。各Lessonの最後には復習のページ、各Chapterの最後にはProjectを設定し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく活動させ、コミュニケーション能力を育成する工夫をしている。</p>
資料	<p>○新出単語は本文の下に配列されている。巻末と英語圏の習慣やジェスチャーの違いを紹介している。また、巻末に各学年とも発音と綴りにこだわったページがある。Tipsという形でコミュニケーションをするうえで知っておくと、ためになる情報を提示している。</p>
表記・表現	<p>○色の使い方が鮮やかでイラストが先ず目に飛び込んでくる。1年次ではすべてブロック体、2、3年次でも手紙やレポートはブロック体が使われている。欄外に綴りと発音の共通性を認識させる表記がある。ネイティブに近い強弱、リズム、リエゾンをわかり易く表記している。</p>
総括	<p>○ユネスコ無形文化遺産に登録された日本食文化を意識し、食育もねらった題材を盛り込んでいる。英語を使って自己表現する工夫が随所に設定されており、その話題も身近なものが多くなっている。Book2で辞書指導を取り入れている。泣いた赤鬼、点字等の題材も扱っている。Listeningの練習パターンが多くなっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（4 / 6 ページ）

種目(教科等)【 英語 】

項目	教科書名(NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition) 会社名(三省堂)	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎・基本を繰り返し活用しながら、各課に「聞く」「話す」「読む」「書く」活動が配置され、コミュニケーション能力の基礎を養う構成となっている。</p> <p>○各課に学ぶ目標、Part ごとに学ぶポイントが提示され、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に配慮がなされている。</p> <p>○6ヶ国出身からなる登場人物がおり、様々な人、文化、考え方を学び、他を受け入れ、自分たちの文化を発信する力を養う内容となっている。</p>	
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫＞</p> <p>○各Lessonごとに、とびら→GET→USE(Read, Speak, Write)→文法のまとめに分かれている。また、Partごとに、Practice(Listen, Speak, Write)の活動があり、基本的な4技能を習得できる活動が入っている。最後にWord Bankで語彙を増やす活動もできるようになっている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○各課のGETの次にあるUSE-Speak、各課の終わりにあるLet's talkでは、買い物の仕方や会話の流れをつかむ工夫(あいづち、確認する言い方)、USE-Writeでは、手紙やメール、紹介文を書く活動を取り入れている。Projectでは、各課で学んだことを応用し、思考力、表現力を発展させる活動が設定されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各課の始めに、学ぶ目標、Partごとに学ぶポイントが提示され、課の終わりには、Let's listen、Let's read、ReviewやFor Self-studyなど、自主的に学ぶことのできるページがある。また、学習内容で参考になる資料、さらに利用できるページが掲載され、すぐに探することができるようになっている。</p> <p>＜聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫＞</p> <p>○Lesson1～3の内容をProject 1で、Lesson4～6の内容をProject 2で、Lesson7以降の内容をProject 3で、自己紹介、他者とのインタビューやディベートなどの活動を取り入れながら、総合的に表現力の育成を図っている。各Projectでは、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を活用する構成になっている。</p>	
	資料	<p>○巻頭には、1年生「ことば」、2年生「学び」、3年生「かかわり」をテーマにした写真資料がある。巻末に付録Further Readingがあり、分野の違う内容の読み物がある。付録「いろいろな単語」は場面に合わせてまとめられ、「会話表現」はUSE Speakで使用した文がある。後見返しには、CAN-DOリストもある。</p>
	表記・表現	<p>○基本となる文章、文法のまとめ、単語表記など、3年生までブロック体が使用されている。活動の内容を絵で示してある。巻末にある「単語の意味」は学習したページ、学年が表記されている。発音記号は別色で表記されていて、配色も含め、教科書全体に色の工夫がなされている。</p>
総括	<p>○各課において言語材料の理解を深めるページGETと、読む力を身につけるページUSE READとコミュニケーションを図るページSpeak、Listenに分かれており、コミュニケーション能力の基礎を育成する工夫がされている。学習プロセスがわかりやすくなっており、自主的に学ぶ工夫もされている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（5 / 6 ページ）

種目(教科等)【英語】

項目	教科書名(ONE WORLD English Course) 会社名(教 出)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的な力を身に着け、「使える英語」を育成するための発展的な活動まで、段階を踏んで4技能を習得できる工夫をしている。</p> <p>○自己表現、会話練習では自分の考えを場面が多く盛り込まれ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につなげている。</p> <p>○身近なテーマから、異文化理解、国際平和、自然環境等、様々なジャンルの題材を取扱い、身の回りのことから世界や未来につながるような工夫をしている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫></p> <p>○各lesson はHop Step Jump で構成されていて目標が明確に設定されている。Hop では主に「聞く」「話す」「書く」の領域が活動しやすく構成され、Stepでは興味深いトピックの英文で、意欲的に「読む」活動を促している。さらにJumpではTaskとActivityで振り返りと発展ができる構成となっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Lessonの合間に設けられているConversation Tips やWriting Tips等では、新出文法事項を使った発展的な学習ができ、かつ、使いやすい表現が取り入れられ、表現力を育成する内容となっている。さらに、Projectでは学習した言語活動を活用し、発展させ統合的に学習できる工夫がなされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各新出文法事項の最後には「英語のしくみ」では、基本的事項がわかりやすくまとめられている。巻末の重要構文復習リストがあり、学習した内容が一目でわかり、復習しやすい。また別冊EssentialのLet's tryでは、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がされている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○各セクションは目標が明確となっていて、HopではListening、Speaking、Writingを設定し、StepではReadingを設定していて、意識的に基本文の定着を図ることができる。Jump、Tips Projectでは「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を活用させる活動が取り入れてある。</p>
	<p>資 料</p> <p>○巻頭、本文には関連写真や説明がふんだんに取り込まれている。本文はPartが見開きで、新出単語も本文横に配置されている。全体的に各国の文化等の違いや比較が内容の中に盛り込まれ、充実したものとなっている。別冊Essentialsでは、Let's tryが赤シートを使って復習できるようになっている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○各学年の実態に合わせて、文字の大きさ、行間が工夫されている。学年が進むにつれて、行間が狭くなり、文字も小さくなり、情報量が増えている。本文と、その他Activity等では、ブロック体と手書き風の字体など異なったものを使用し、わかりやすい展開となっている。発音記号を使用した音の分類がある。</p>
総括	<p>○基本文の説明、学習目標が明確で、定着のためのアクティビティも4領域それぞれの課題がたいへん明確である。発展させるための項目も、段階を踏んで統合的に活用できるようになっている。「Can-Do」やまとめのページでも学習到達目標が明確で、生徒の自己評価もしやすいものとなっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（6 / 6ページ）

種目(教科等)【英語】

項 目	教科書名(COLUMBUS21 ENGLISH COURSE)	会社名(光 村)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○CAN-DO を意識した目標が設定されており、発達段階と習熟度の向上に応じてレベルアップしていけるように、ステップを踏んだ活動が提示されている。</p> <p>○生徒と等身大の登場人物たちの一貫したストーリー性のある本文で、実際の使用場面や目的に応じた言葉の使い方や身近な話題を扱った内容が設定されている。</p> <p>○我が国及び他国の文化とその多様性に触れられるような題材、さまざまな国の人物、幅広いトピックが取り上げられている。</p>	
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○重要な学習事項をスパイラルに習得させる工夫をしている。本文とTry it!は、基礎知識を習得させ、You Can Do It!は言語活動、Language Focusの文法は振り返り、Go for It!は自己表現活動を定着する工夫をしている。各Unitで学習した言語材料を用いて英語を使わせ、繰り返し指導するようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○PISA型の読解力として重視される図表・グラフ・地図などを含む文章を扱い、情報を的確に読み取って判断する力を育成する工夫がなされている。CLILのコーナーでは、英語で他教科の内容を学び、アクティブラーニングを通して他者や異文化を理解させる工夫がなされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○案内役キャラクターが効果的な学習方法をアドバイスしている。Your Coachでは、まとめの丁寧な解説が、つまづきそうなときの助けになっている。Unitごとに、目標が明示され、CAN-DOで学習到達目標を自己評価チェックできるコーナーがある。Language Focusで文法事項の整理と振り返りができる。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○Go for it!では、4技能を使ったプロジェクト型言語活動をさせ、幅広く自己表現活動を体験できる。「紹介する」「書いてまとめる」「報告する」「意見を伝える」といったテーマ設定、活動しやすい4つのステップで構成され、具体的なアドバイスがある。TRYで活動をさらに発展させ深めることができる。</p>
	資 料	<p>○巻頭には英語のメッセージとその内容に関わる写真、本文関連記事がある。本文はPartが見開きで展開されている。新出単語は本文の横に配置されている。</p> <p>巻末には、言語の使用場面に応じた表現集がある。Word Squareでは、表現活動に活用できる語彙がカラーイラストで紹介されている。</p>
	表記・表現	<p>○1年生ではブロック体、2、3年生ではSkit Time、Go for It!でブロック体を使用し、それ以外では活字体を使用している。各学年で文字の大きさや行間は統一されている。発音記号を使用した音の分類がある。2年生以降は、1年生より文字が小さく、行間も狭くなり、情報量が増えている。</p>
総 括	<p>○各Unitは、本文、Try it! (習得) You Can Do It! (活用) から成り、基礎力を定着させ、Go for It! (自己表現活動) で4技能を総合的に伸ばす構成になっている。本文は、日常的なエピソードが盛り込まれているので、登場人物の成長を通して感情移入しながら、実践的な英語を学ぶことができる。</p>	

